



THE ROTARY CLUB OF SADOWARA WEEKLYBULLETIN

佐土原ロータリークラブ週報

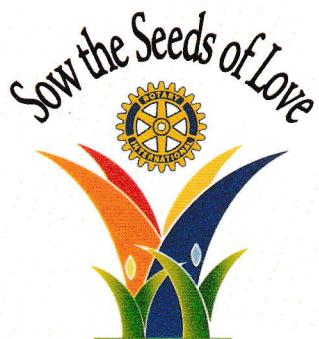


3月5日 「みつまた」

花言葉 **意外な事**

三桠と言えば和紙の原料である

シンショウゲ科の植物で花の芳香ある



Bhichai Rattakul
RI President, 2002-03

慈愛の種を
播きましょう

2002-2003年度 国際ロータリーのテーマ

第779回 平成15年 3月 5日 (水)

[本日のプログラム]

1. 点 鐘
2. 国 歌 齊 唱
3. ロータリーソング
「奉仕の理想」
4. 「四つのテスト」 唱和
5. 食 事
6. 会長の時 間
7. 幹事 報告
8. 委員会 報告
9. 3月セレモニー
10. 会員卓話
垂水敏雄君
11. 点 鐘

次回予告

★ 3月12日(水)
ゲスト卓話

★ 3月19日(水)
会員卓話

正岡文郁君

佐土原ロータリークラブ

例会日 毎週水曜日 (12:30~13:30) 会長 宮原 建樹

例会場 石崎浜荘 ☎ 0985-73-1913 副会長 林 厚雄

事務局 宮崎郡佐土原町大字下那珂3887-17 幹事 中武 幹雄

☎ 880-0212

会計 佐藤 高元

TEL及びFAX 0985-73-7170

会報委員長 池田 仁志

第778回例会記録 (2003. 2. 26)

☆会長の時間

会長 宮原建樹君

皆さん今日は。本日は第778回の例会です。

今日は桜並木道の清掃の予定で、此処久峰総合運動公園に参集していただきましたが、生憎、天候があまり良くありませんので、管理室の隣の屋根付きの広場に集まって頂きました。

先週開催しました、炉辺会合に参加されました皆様、大変お疲れさまでございました。会場をお貸しいただき、ご馳走も用意して頂いた、山脇会員、お世話になりました。ありがとうございます。お陰様で色々新会員の情報も出ました。勿論、すぐ増強に結びつく事は出来ないかも分かりませんが、追々煮詰めていきたいと思います。

24日（月）は宇納間地蔵大祭の最終日との事で、北郷村の宇納間まで行って参りました。私は初めてで、階段が300段以上あり、登るのに難儀をしました。矢張り運動不足ということなのでしょうか。

宇納間地蔵は昔から、火の神といわれ、御札を頂き、家に祀るとその年は火事に合わないといわれているようです。お祭りは近隣の人々で大変、賑やかで、昔の佐土原鬼子母神の祭りの様子を思い浮かべ、何だか懐かしさを覚えました。帰りは道を間違え、西郷を通り越して、南郷まで行ってしまいました。

本日は桜の手入れをする予定でしたが事前に梶田会員が下見をしたところ、公園管理の方が肥料は定期的に施して、枯れないように手入れをされている様で、それでは周辺のゴミ拾いや草むしりでもと云う事でしたが、あいにくの雨でそれも出来ませんでした。

でも桜が順調に大きくなっている様子を見ることが出来まして、ホッとしています。

また時期になったら綺麗な桜の花を見に来たいと思います。

3月2日はIMです。ご参加の方々はよろしくお願ひいたします。

☆幹事報告

幹事 中武幹雄君

1. 例会変更及び休会通知

①3月4日（火）は「50周年準備会議」のため、時間 12:00~
 場所 宮崎観光ホテル [] に変更

3月11日（火）は「50周年式典」のため、時間 16:00~
 場所 宮崎観光ホテル [] に変更

宮崎RC

②3月20日（木）は「宮崎県内中央会」のため、時間 18:30~
 場所 ホテル神田橋 [] に変更

宮崎中央RC

③3月12日（水）は、釜山東西RCとの締結10周年記念事業のため、

日時 3月14日(金) 18:00~

場所 ガーデンベルズ 小林

に変更

小林 R C

次年度、私が会長の重責を担うわけであります。テーマが決まりまして、その掲示幕の頒布のお知らせが来ましたので、注文を致したいと思います。

2003~2004 年度 国際ロータリー
テーマ 手を貸そう
です。

会長からもありましたが、3月2日のIMの参加の方は、よろしくお願ひ致します。

前にも申しましたように出席の方はメイク扱いになります。

☆出席報告

副委員長 正岡文郁君

会 員 数	28名
例会出席者	19名
出席率	68%
ノーカップ者数	5名
修正出席率	86%
欠席者名	宮本、後藤、村岡、岩切(德)

☆会員車話 (人吉盆地「相良三十三郷部めぐり」)

池田仁志君

実はひょんなことから、単車が手に入りまして、車両量の多い国道を避けて、山道を走り、ブレーキのかけ方、カーブの曲がり方等を練習しながら、走る距離を伸ばしております。いつも米良街道を走るのが好きで、二つの道路が抜けております。一つは椎葉に抜け、諸塚~西郷~日向市~佐土原へ、のコース。もう一つは米良から祖母山の北を迂回し、市房ダム~水上村~湯前~人吉~えびののコース。ある日、いつもの様に米良から不土野峠を通り、椎葉ダムの上流で「左矢部町」「右椎葉村」の地図看板!少し冒険心に駆られ、左矢部町へ。道路も綺麗な所が尾前渓谷を抜けた途端、砂利道に変わり、椎矢峠(1280m)を越えると狭い岩だらけの山道になり、直ぐ抜けられると思っていたのが大間違いで、日は落ち、真っ暗、勿論街灯などありません。漆黒の闇、方向等分かりません。何回も転倒しながら、夜道に人が立っていると思い、ドキッとして、目を凝らして見ると鹿がこちらをジューと見ていています。あちこちから鹿の不気味な鳴き声、泣きたい気持ちを抑え、矢部町窒素目丸発電所にやっと辿り着きました。でもまだ山の中です。此処迄、山の中を4時間も走っていました。

会えた人に「宮崎に帰る道はどちらになりますか」と尋ねると答えは「ハー?」だから九州山脈の林道は難しい。

九州山脈の屋根、熊本県境がそこに見えます。眺めは勿論最高です。湧水を沸かしてコーヒー、おにぎりを食べて、サーア出発。一番楽しい一時です。

(何時か雄大な北海道を寝袋を積んで、一周するのが私の夢です。)

第3のコース。米良街道を湯前町に下りて来ますと、自転車に乗った大人や子供がぞろぞろ観光バスまで、左の湯前温泉「湯楽里」の方へ行っております。私も後をつけてみま

した。行き着いた所は二十七番 宝陀寺と看板、十一面觀音様がまつられ、

御詠歌【代々の人の くめどもつきぬ 法の水 ふかきおしへの かぎり知られず】

御詠歌を唱えながら一心不乱に手を合わせお参りをしている人、スタンプを押して次の所に急ぐ人、ゆっくりお茶を飲み、漬け物を戴いている人。私もお参りを済ませると、地区の人がお茶と漬け物を勧められました。お茶を飲むと皆、お盆に志を置いて行かれます。アーニーこれが「お接待」と言うのですね。

何故こんなに多くの人が参っているのかと聞きますと、人吉盆地（13市町村）では相良藩時代からお彼岸の期間中「お接待」が行われ三十三番靈場回りをされているとのことでした。私も二十八番、二十九番と後について行きました。

土手には彼岸花が咲き、いずこのお寺でもお茶と漬け物、おにぎりもありました。

三十一番に行った所で、遅い時間となり、残念ながら、佐土原へ帰ることになりました。その続きが今年の正月3日～4日という事になりました。

一番「清水千手觀音」（きよみせんじゅかんのん）

旧相良家の菩提寺「願成寺」の境内横にあると聞き、人のあとをつけて行きましたが、場所を探すのが大変でした。京都の清水寺から勧請（かんじょう→仏を我々の目の前に移し迎えてお祭りすること）されましたので、清水寺に参ったのと同じ功徳があると伝えられております。妊婦さんや、お乳の欲しいお母さんの信仰が厚いと書いてありました。

御詠歌 音羽山 音に聞こゆる清水の
ふかき誓いを 誰も頼みき

二番「中尾千手觀音」（中略）

御詠歌 まようなる ゆめまぼろしの世の中を 誰もしれとの おしえひろしな

三番「矢瀬が津留十一面觀音」

御詠歌 世のわざは 夢の間のたわふれと
黙り語てつづ 法を求めよ 法→道 みち

四番「三日原聖觀音（さんじがはるしょう ひじりかんのん）

御詠歌 月影の けふ出初むる みかの原
はるかに照らせ ながきよの闇
五番「鶴口觀音堂」（つるくちかんのんどう）

御詠歌 彼の岸も 近き渡りになりにけり
ちかいの舟に のりをえぬれば

六番「嵯峨里十一面觀音堂」

御詠歌 晴間なき 心のやみか霧かすみ
ふた村山の月に照るらん

七番「石室聖觀音」（いしむろ ひじりかんのん）

御詠歌 逢うことは 得がたき石の室の戸
の ひらくやのりの華と見るらん

ロータリーの友

『柳』 壇より

氣兼ねなく話せる国にいて至福

鶴浦 緑豊

少し平和に飽き気味でいた日本人に、北朝鮮の拉致問題は、大きなショックであった。イラクやアフガニスタンにしても、今の日本人には想像ができないものがある。平和ボケと自嘲しながらも、ありがたい日本である。総理大臣にも、ノーと言える国である。周囲にスパイの目も光っていない。親子・兄弟、向こう三軒両隣、友人達とも心を開いて、話合い、笑い合える国である。

用品店旦那以外は中国製

大分・中華 鶴浦

捨てがたし似た境遇のはずれくじ

大分・佐佐木 金子